



▼試合コートを分散させるなどの対策を行った大会の開会式で選手宣誓する選手ら



中学3年生の選手らに集大成の舞台を

中体連代替大会を開催

7月18日（土）郡中学総体中止に伴う代替大会が始まり、郡内を中心に各会場で熱戦を繰り広げました。

同大会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった中学総体（中体連）の代替大会を開催し、中学3年生の選手らに集大成となる舞台を提供しようとの思いから、バレーボール、バスケットボール、軟式野球、サッカー、卓球、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、水泳、ソフトボール、陸上競技、駅伝競技の各協会などが主催。

本町では、甲佐中学校体育館および甲佐町農林漁業者トレーニングセンターでバレーボール（女子）が、同中テニスコートでソフトテニス（女子）の2競技が開催されました。バレーボール競技に出場した本田楓椋さん（甲佐中3年・大町区）は「中学最後のプレーができる場を準備していただいていた皆さんに感謝したいです」と笑顔で話しました。

交通ルールを守ろう

甲佐小学校で交通安全教室を開催

7月2日（木）甲佐小学校（武永春美校長）で交通安全教室が開催されました。

同教室は、正しい交通ルールを児童が学び、事故の発生を防ぐことを目的として、町と御船警察署が開催。

児童たちは御船署員から交通マナーや自転車の点検方法、自転車の正しい乗り方などについて説明を受けた後、運動場に訓練用の信号機を設置して作られた仮設の横断歩道や同小学校前の交差点を横断する実技訓練に臨みました。



▲御船署員の指導を受けながら実技訓練を行う児童ら



◀願いを込めた短冊を飾り付ける参加者

地域社会で育てる子どもたち

令和2年度乙女小「まつやま塾」開講

6月24日（水）乙女小学校（川上輝美校長）で、令和2年度まつやま塾が開講しました。

同塾は放課後に地域住民の参加力を得て地域社会で子どもたちをほぐくむことを目的に、町教育委員会が平成20年から主催。主に毎週水・金曜日に同小学校を中心に年間40回程度、活動を行います。

7月3日（金）は同小校舎で七夕飾りつくり挑戦。子どもたちは、それぞれの願い事を書いた短冊などを地域住民が準備した竹笹に飾り付けました。石原葵さん（乙女小6年・津志田区）は「お願いが叶うようにがんばりたい」と話しました。

明るい社会を目指して

第70回社会を明るくする運動

7月10日（金）郡内で「第70回社会を明るくする運動」が行われました。

上益城地区保護司会御船分会（眞淵正信会長）が主催。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開。7月の運動強調月間に当たり、同会が郡内4町を巡回し啓発活動を行いました。

本町を訪れた同会の一行は、町役場を表敬訪問し、奥名克美町長に内閣総理大臣および県知事のメッセージを伝達しました。



▲奥名町長にメッセージを伝達する眞淵会長（中央右）



▲ちやぐりんを贈呈する松岡勇治代表理事専務（右）

農業への理解を深めよう

上益城農業協同組合が児童に食農教育雑誌を贈呈

7月10日（金）町教育長室で、食農教育雑誌『ちやぐりん』の贈呈が行われました。

同誌は、（一社）家の光協会が発行する月刊誌で、農業の大切さや自然との関わり、共生の役割などについて次代を担う子どもたちに理解を深めてもらうことを目的に発行されています。

上益城農業協同組合（田原要一代代表理事組合長）の松岡勇治代表理事専務から、町内4小学校の4年生112人分が蔵田勇治町教育長に贈呈されました。

蔵田町教育長は「毎年いただいております。ありがとうございます。有意義に活用します」と感謝を述べました。

豪雨災害の被災地へ町職員を派遣

熊本地震の経験を活かして被災地を支援



▲奥名町長（左）から被災者に元気を取り戻してもらうような支援活動に励むよう訓示を受ける本町第一陣となる派遣職員ら

7月9日（木）町役場本庁舎で、豪雨災害の被災地を支援する派遣職員の激励会が行われました。

町では、被災自治体や熊本県町村会の要請に応じて、7月豪雨により大きな被害が発生した芦北町および球磨村へ町職員を順次派遣しています。

激励会で奥名町長は「熊本地震の際、本町は芦北町からも支援をいただきました。被災者の笑顔を取り戻すような活動を期待します」と訓示。

派遣初日となった10日は、2人が災害ごみの仮置き場で活動に従事し、被災者が運び込んだ家電製品や畳などの災害ごみの分別や案内を支援。

13日からは被災者の生活再建において重要な災証明書発行のための被害認定調査や新型コロナウイルスへの対策が続く避難所運営の支援も始まり、7月26日現在で本町職員のべ61人を派遣しました。被害認定調査に加わった久米修永住民税係長は「熊本地震の経験を活かして的確な支援ができました。被災者に寄り添った支援を今後もできる限り継続していきたいです」と活動を振り返りました。